

【附属資料】

2024 年度事業計画

一般社団法人溶接学会

2024年度 事業計画
(2024年3月1日から2025年2月29日まで)

本会は、2024年度において溶接研究の拡充、振興および溶接教育の推進強化を目的として下記の事業を行う。

1. 全国大会（定款4条1項）
 - 1.1 春季全国大会
2024年4月22日～24日：阪大中之島センター（大阪市住之江区南港北2丁目1-10）
研究発表講演(74件)、特別講演「日本鉄鋼業における水素活用プロジェクト」(講演1件)・シンポジウム「ゼロカーボン発電を支える溶接・接合技術」(講演5件)、フォーラム「ステンレス鋼溶接のイノベーションとクリーンエネルギーへの貢献」(講演6件)、若手会員の会イブニングフォーラム
 - 1.2 秋季全国大会
2024年9月4日～6日：北海道科学大学（札幌市手稲区前田7条15丁目4-1）
研究発表講演、溶接学会論文賞受賞講演、業界セッション、特別講演、フォーラム、ポスターセッション、企業展示、技術セッション、ワークショップ
2. 講習会（定款4条1項）
 - 2.1 2024年度溶接入門講座（第60回）
会期 2024年6月3日(月)・4日(火)（2日間）
会場 溶接会館ホールでの対面及びMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催
 - 2.2 2024年度溶接工学夏季大学（第71回）「溶接中堅技術者講座」
会期 2024年7月から8月の15日間を予定
会場 オンデマンド配信方式にて開催
 - 2.3 2024年度溶接専門講座（第11回）
軽構造接合加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催
会期 2024年10月1日(火)
会場 対面とMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催
 - 2.4 2024年度溶接工学企画講座（第5回）
編集委員会と溶接教育委員会の共同開催
企画は未定
会期 2024年10～11月に予定
会場 対面とMicrosoft Teamsによるハイブリッド開催
3. 刊行（定款4条3項）
 - 3.1 溶接学会誌 93巻2号（2024年3月号）～94巻1号（2025年1月号）8冊
 - 3.2 溶接学会論文集（WEB出版）第42巻2号(2024年4月)～第43巻1号(2025年3月)4冊
 - 3.3 WEB版全国大会講演概要集（第114集及び第115集）2回
 - 3.4 2024年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」
 - 3.5 溶接学会技術資料を随時刊行する。
4. 第92回通常総会
日時 2024年4月22日（月） 開会 10時30分 閉会 12時00分
議題
 1. 第1号議案 2023年度事業報告承認の件
 2. 第2号議案 2023年度決算報告承認の件
 3. 第3号議案 監査報告
 4. 第4号議案 溶接学会フェロー規定改定の件
 5. 第5号議案 2024・2025年度理事及び監事選任の件
 6. 第6号議案 特別員の推薦
 7. 各種表彰
 8. 支部感謝状贈呈
5. 役員会等
 - 5.1 理事会

定例理事会を6回(3・4・6・9・12・2月)及び必要あるとき開催

5.2 運営協議会

必要あるとき随時開催

5.3 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.4 支部長会議

必要あるとき随時開催

5.5 JIW 共同企画委員会

定例として年4回開催

6. 業務委員会活動

6.1 企画委員会

日本溶接協会との連携強化を目指し、JIWの共同企画委員会に提案する戦略および実行プランを策定する。特に、研究活動、出版活動、教育・啓発活動、広報・情報化戦略などについて、連携強化のための活動提案を行う。また、本会のプレゼンスをより一層高めることを目標として、全国大会の改革・充実、研究委員会活動の活性化、教育・出版・広報活動の刷新、財務基盤強化、支部活動の活性化、国際化対応などについて推進する。また、学会誌の将来ビジョン策定(デジタル配信)、論文集の活性化、財務強化に向けた会員・賛助員メリットの明確化および会員増強、情報発信の強化(情報コンテンツの整備・デジタル化、ホームページの充実・英文化)、若手活性化アクションプランなどを検討し、その推進に努める。さらに、溶接・接合分野の重要性を政府・関係機関、日本学術振興会などへアピールする活動を継続する。国際化対応に関しては、JIW/IIW活動を活性化させ、国際的な情報発信に活用する。会員サービスや教育活動に関しては、新たな教育プログラムに加えて、本部や支部主催の講習会や日本溶接協会と連携企画を通じて、溶接技能者・技術者・研究者育成に寄与する教育・広報活動を検討する。

6.2 溶接情報化委員会

新しい学会ホームページを活用し、学会活動の情報発信強化、セキュリティ対策の向上、会員・賛助員へのサポートを向上させる。ポスト・コロナ時代に対応し、会員へ提供する各種サービスの充実、効率的な提供を図るため、他の委員会と協力してオンライン、オンデマンド、ハイブリッドを含めて、行事開催を推進する。定例委員会及び情報化WGを開催し、会員・賛助員情報、委員会情報、イベント情報発信などを一元化できる情報管理システムの充実を図る。引き続き、学会HPのブラッシュアップをすすめ情報発信強化をはかる。

6.3 編集委員会

溶接学会論文集およびWelding LettersはWEB発刊とする。溶接学会誌は年8号を刊行し、特集、レビュー&トレンドなどの企画を行う。第86巻以降の展望号を改訂し、「A 溶接・接合工学の最近の動向」は8つの常設研究委員会を2グループに分けて「B 産業界の最近の動向と溶接工学」と併せて3年周期で担当している。本年はAの常設研究委員会(2グループのうち後半)による溶接・接合工学の最近の動向の執筆となる。なお、次年度のBが終了した後、常設研究委員会が担当する「A 溶接・接合工学の最近の動向」を取り止め、「B 産業界の最近の動向と溶接工学」を5分割して、5年周期で毎年掲載する予定である。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実を目指す。2023年のアンケートの取りまとめを行い、集計結果を学会誌(Vol.93, No.5予定)にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者を選考する。

学会誌記事の一部について、カラー図面や動画をWebから閲覧可能なように、電子化の試行を行う。また、電子化に対する会員の要望を反映する方策を検討する。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開する。溶接学会全国大会講演概要も会員には発行直後から公開、非会員には発行日から5年経過後に公開する。溶接学会論文集は創刊号から一般公開する。

昨年のマイクロ接合研究委員会と界面接合研究委員会への溶接学会論文集特集号企画の依頼に引き続き、本年は、溶接構造研究委員会と溶接疲労強度研究委員会に特集号企画を依頼する。

溶接学会とTaylor & Francis社との契約に沿って、溶接学会論文集への投稿時、著者に英文翻訳誌Welding International(WI)にて翻訳掲載される候補論文となる同意を確認する。同意論文情報リストをWIのEditor in chiefへ送付し、採択された論文の編集可能PDFファイルをWIへ送付、翻訳論文を著者に確認・修正依頼し、再度Editor in chiefへ送付する。著者およびEditor in chiefの両者合意の下、版組、最終校正と進み、採択論文がWIに掲載される。

「溶接学会誌」と「溶接技術」の協業として、溶接技術に1頁の「溶接学会ニュース」を12

回/年掲載していく。学会事務局と編集委員長とで引き続き対応する。

6.4 論文査読・審査委員会

電子査読システムが Editorial Manager への変更に伴い、投稿論文の査読承認方法も変更になっており、これにより承認期間が早くなっている。システム運用上の問題点を明確にする。また、ウェブ投稿受け付けで行っており、システム上の問題点を確認し、随時システムを調整する予定である。査読者に通常論文および Welding Letters の投稿から掲載までの期間の短縮を促進していく。査読者への利便性と短縮を図るために、投稿原稿の書式、査読報告書書式、査読フローの見直しを行い、特集号への対応を行いやすいように電子査読システムへの改善を図っていく。とくに、論文投稿数を増やせるように、査読システムの見直しおよび査読者用のマニュアルを作成、および Express 論文の査読過程で、査読者への負担などを改善する。投稿者への利便性を図るために、査読状況を公開できるようにシステム変更の検討も行う。

また、原則年度内 1 回以上の全委員が集まる定例委員会をウェブにより開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、および種々の意見交換および議論を行う。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第114集及び第115集を発行する。
- (3) 2024年度秋季および2025年度春季全国大会の開催形式の審議とそれに伴うプログラムを編成する。
- (4) 2024年度秋季および2025年度春季全国大会のオーガナイズドセッションを募集する。
- (5) 全国大会における35歳以下の研究者による口頭発表に対し、溶接学会優秀研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (6) 全国大会における35歳以下の研究者によるポスター発表に対し、溶接学会優秀ポスター発表賞の審査・推薦を行う。
- (7) 全国大会における優秀な口頭発表に対する「エクスプレス・WL」投稿の無料特典者の審査・推薦を行う。
- (8) 全国大会の活性化による収入増（講演者・聴講者数の増加、展示ブース申込数の増加、など）および経費削減（アフターコロナにおける春季全国大会の開催形式など）を検討する。
- (9) 全国大会での日本溶接協会、溶接接合工学会、日本接着学会との連携行事を検討・実施する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 2024年度 IIW 国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW 特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 2024年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 2024年度溶接入門講座1回（前掲）
 - 3) 2024年度溶接専門講座（研究委員会と共同開催、前掲）
 - 4) 2024年度溶接工学企画講座（編集委員会と共同開催、前掲）
 - 5) 溶接技術実用講座（支部主催）
 - 6) 新規セミナーなど
- (4) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施する講習会やセミナー、シンポジウムについて、IIW 特認コース WG と連携して IIW 履修ポイントを算定・認定する。
- (5) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (6) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。

6.7 国際交流委員会

- (1) 必要ある時に随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。
- (2) 国際溶接学会（第 77 回 IIW 年次大会 IIW 2024：6月7日～12日 ギリシャ：ロードス島）に JIW を通じて参加する。
- (3) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、第 31 回シンポジウム「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装」（Mate2025）を開催する。
- (4) アジア溶接連盟（AWF）は、4月に日本にて、また、10月にマレーシアにて開催を計画しており、会議等に引き続き参加する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化の促進のため、若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員、および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的に、若手会員・学生員、および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学生に対する啓発活動など学会員以外の参加を促進し、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム

日時：2024年4月23日（火）17:00～19:00 予定

講演：6件（予定）

(2) 若手研究会・施設見学会（1回目）

日時：2024年6～7月頃（予定）、対面開催

(3) 秋季全国大会 ポスターセッション

日時：2024年9月5日（木）17:00～19:00 予定

場所：北海道科学大学 A棟2階

(4) 若手研究会・施設見学会（2回目）

日時：2024年11月頃（予定）、対面開催

(5) 若手研究会・施設見学会（3回目）

日時：2025年1月頃（予定）、対面開催

(6) 溶接若手出前講義

講師と訪問先の調整により日時を決定

(7) 若手会員の交流・活動の活性化、若手会員の増強などに資する提言を行う。

7.3 グローバルネットワーク活動

(1) 若手会員、博士課程学生への国際会議参加費助成

(2) そのほか、海外の若手グループとのオンライン交流会開催へ向けた協議を進める。

7.4 情報交換および広報

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に活動報告等を掲載する。

(2) 溶接学会誌に「スポットライト—若手の特集記事—」を掲載する。

(3) ホームページに、活動報告等の情報を掲載する。

(4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

(1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応等について検討する。また、他学・協会との研究連携を推進する。

(2) 春季全国大会においてフォーラム（溶接冶金研究委員会）を開催する。

(3) 秋季全国大会においてフォーラム（溶接疲労強度研究委員会）を開催する。

(4) 軽構造接合加工研究委員会が企画し、溶接工学専門講座を開催する。

(5) 溶接学会論文特集号（第5回目）を、溶接構造研究委員会と溶接疲労強度研究委員会が共同で担当する。

(6) 日本溶接協会と溶接学会との連携活動について継続的に検討を行う。

(7) マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会との共同主催で、第31回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム（Mate2025）を開催する。

8.2 溶接構造研究委員会

(1) 開催回数 年5回

(2) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする

(3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
-----	-----	-----	----

第 250 回	2024 年 03 月	大阪	研究報告 4 件 (日本船舶海洋工学会材料溶接研究会との合同委員会)
第 251 回		未定	研究報告 3 件～5 件
第 252 回		未定	研究報告 3 件～5 件
第 253 回		未定	研究報告 3 件～5 件
第 254 回		未定	研究報告 3 件～5 件

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日または 2 日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第 265 回	2024 年 05 月	東京	研究報告 4～5 件
第 266 回	2024 年 08 月	大阪	研究報告 4～5 件
第 267 回		未定	研究報告 4～5 件
第 268 回	2025 年 01 月	東京	研究報告 4～5 件

J I W 第 12 委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1 回の会期は原則として 1 日、又は 2 日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第 257 回	2024 年 05 月	東京	研究報告 4～5 件
第 258 回	2024 年 08 月	大阪	研究報告 4～5 件
第 259 回	2024 年 10 月	未定	研究報告 4～5 件
第 260 回	2025 年 01 月	東京	研究報告 4～5 件

溶接部破面写真集の刊行を計画する

J I W 第 9 委員会・第 2 委員会と協力して国際研究活動を行う

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第281回	2024年04月	東京	研究報告 3～4件
第282回		東京	研究報告 3～4件
第283回		未定	研究報告 3～4件
第284回		東京	研究報告 3～4件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時（コロナ感染状況次第）
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第105回	2024.05月	大阪	研究報告 3～4件
第106回		未定	研究報告 3～4件
第107回		未定	研究報告 3～4件

J I W第4委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第145回	2024年06月	東京	研究報告 3～4件
第146回	2024年09月	大阪	研究報告 3～4件
第147回		未定	研究報告 3～4件
第148回	2025年01月	東京	研究報告 3～4件

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第145回	2024年05月	東京	研究報告 3～4件
第146回	2024年07月	東京	研究報告 3～4件
第147回	2024年09月	東京	研究報告 3～4件
第148回	2024年11月	東京	研究報告 3～4件

Mate2025 をスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と共同

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日、又は2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第126回	2024年05月	東京	研究報告 3～4件
第127回	2024年10月	東京	研究報告 3～4件
第128回	2025年01月	東京	研究報告 3～4件

第 127 回委員会は溶接協会ろう部会先端材料接合委員会との合同で開催
JIW 第 17 委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 国内活動

- 9.1 日本学術会議材料工学委員会、日本溶接協会、軽金属溶接協会、日本非破壊検査協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会との協力を進め、本会の目標達成を図る。
- 9.2 支部活動の活性化を図る。

10. 国際活動

- 10.1 日本溶接会議 (JIW) の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。
- 10.2 アジア溶接連盟 (AWF) の活動に引き続き参加する。
- 10.3 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換し交流を図る。

11. 創立 100 周年記念事業

本会は、1926 年に設立され 2026 年に創立 100 周年を迎えることから 100 周年記念事業を計画する。

2024年度 支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 秋季全国大会

日時：2024年9月4日(水)～6日(金)

場所：北海道科学大学

1.2 溶接技術講習会

(開催日時・場所・講演題目・講師：未定)

1.3 見学会

(開催日時・場所：未定)

2. 会務

2.1 2024年度支部商議員会並びに支部総会

日時・場所：未定 (Web開催またはメール開催を予定)

議事：1)2023年度事業報告・決算報告・監査報告

2)2023年度事業計画・収支予算

3)2023年度溶接技術普及賞・溶接技術奨励賞 授賞式

3)その他

2.2 幹事会

第1回：(開催日時・場所未定、2024年4月頃を予定)

第2回：(開催日時・場所未定、2024年11月頃を予定)

2.3 表彰

(1)2023年度 溶接技術普及賞、溶接技術奨励賞、支部学生奨学賞

日時・場所：未定

(2)2024年度 第30回北海道地区溶接技術競技大会 (一社)溶接学会北海道支部長賞

日時：未定、場所：(競技会)札幌市(表彰式)札幌市

2.4 全国大会実行委員会

対面またはWebにて随時開催

2.5 その他

・見山全国大会実行委員長の就任に合わせて支部長を交代予定。(本部と日程等を協議)

2. 東北支部

1. 事業

1.1 第36回溶接・接合研究会

日時：2024年7月19日

場所：秋田県内

講演発表：10件程度

1.2 溶接技術基礎セミナー

日時：2024年12月

場所：秋田県内

1.3 刊行：なし

2. 会務

2.1 第61回商議員会

日時：2024年5月18日

場所：宮城県仙台市

2.2 表彰

日時：2024年5月18日

場所：宮城県仙台市

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員にメール送信もしくは郵送 (2024年6月中旬)

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第49回溶接学会東部支部 実用溶接講座 (形式未定)

2024年秋に実施予定。

主題：詳細検討中。

1.2 研究交流会

2024年12月頃に実施予定。

詳細：検討中。

1.3 地区講演会・講習会

- (1) 東京地区（地区委員長：笹木聖人（日鉄溶接工業））
実施予定（詳細未定）。
- (2) 神奈川地区（地区委員長：古川尚英（神戸製鋼所））
実施予定（詳細未定）。
- (3) 千葉地区（地区委員長：前田将克（日本大学））
実施予定（詳細未定）。
- (4) 埼玉地区（地区委員長：金子裕良（埼玉大学））
実施予定（詳細未定）。
- (5) 群馬地区（地区委員長：荘司郁夫（群馬大学））
群馬県立産業技術センター様と共同にて講習会または見学会を開催予定
- (6) 栃木地区（地区委員長：菅野金一（関東職業能力開発大学））
実施予定（詳細未定）。
- (7) 茨城地区（地区委員長：宮城雅徳（日立製作所））
実施予定（詳細未定）。
- (8) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県産業技術センター））
実施予定（詳細未定）。
- (9) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））
実施予定（詳細未定）。
- (10) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学））
2024年12月頃に講演会を実施予定（詳細未定）。

2. 会務

2.1 2024年度支部通常総会

- 1) 2023年度事業報告および会務報告
- 2) 2023年度収支決算報告
- 3) 2023年度事業および収支決算に関する監査報告
- 4) 2024年度事業計画報告
- 5) 2024年度収支予算報告

2.2 表彰

- 1) 2023年度 溶接技術奨励賞の表彰
2024年5月開催予定の支部総会にて受賞式を行い表彰する。
- 2) 2023年度 溶接学会奨学賞の表彰
2024年3月楯を推薦者に送付し、推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。

2.3 常任幹事会・地区委員長会議

年5回、適宜開催する。

4. 東海支部

1. 事業

1.1 溶接研究会，溶接技術講習会

(1) 溶接研究会

第106回 2024年3月 現地+WEB（予定）

第107回 2024年8月 現地+WEB（予定）

第108回 2024年11月 現地+WEB（予定）

2. 会務

2.1 支部総会および特別講演

日時：2024年5月

場所：現地+WEB（予定）

議事：

- 1) 令和5年度事業報告および決算報告
- 2) 令和5年度溶接学会技術賞等授賞式
- 3) 令和8年度事業計画案および予算案の審議，承認

- 4) 特別講演
- 2.2 支部商議員会, 支部実行委員会, 全国講演大会
 - 第1回支部商議員会 2024年5月 現地+WEB (予定)
- 5. 北陸支部
 - 1. 事業
 - 1.1 特別講演会
 - 開催回数: 1回、開催日: 2024年6月~8月の間
 - 開催場所: 先進軽金属材料研究機構共同研究棟 (富山大学高岡キャンパス)
 - 内容:
 - ・第1回目 講演会: アルミニウムのリサイクルと溶接に関する話題 (仮)
 - 富山大学先進アルミニウム国際研究センターとの共催にて講演会を予定
 - 1.2 研究発表会 (主催・共催)
 - 開催時期: 6回を予定
 - 開催場所: 富山大学工学部・講義室を予定
 - 内容: 先進軽金属セミナー (5回) ならびに大学院生・学部生による発表 (1回)
 - 1.3 見学会
 - 先進軽金属材料研究機構共同研究棟 (富山大学高岡キャンパス) の見学
 - 開催日: 2024年6月~8月の間を予定
 - 2. 会務
 - 2.1 2024年度総会
 - 開催時期: 6月予定
 - 開催場所: 富山大学工学部
 - 2.2 商議員会
 - 開催時期 (6月予定)
 - 開催場所: 通常総会と同時開催
- 6. 関西支部
 - 1. 事業
 - 1.1 2024年度講演・工場見学会、技術交流会
 - 講演会および関西地区の工場等見学を計画
 - (2024年秋頃、場所・講演題目・講師: 未定)
 - 1.2 支部表彰式を幹事会開催に併せて実施予定
 - 日時: 2024年6月 (予定)
 - 場所: 未定
 - 1.3 講演会を幹事会開催に併せて実施予定
 - 日時: 2024年6月 (予定)
 - 場所: 未定
 - 2. 会務
 - 2.1 2024年度幹事会
 - 日時: 2024年6月 (予定)
 - 場所: 未定
- 7. 中国支部
 - 1. 事業
 - 1.1 2024年度溶接接合工学学修会
 - (開催日時・場所・講演題目・講師: 未定)
 - 1.2 2024年度溶接技術講習会
 - (開催日時・場所・講演題目・講師: 未定)
 - 1.3 2024年度見学会
 - (開催日時・場所: 未定)
 - 1.4 2024年度学生発表会
 - (開催日時・場所: 未定)
 - 2. 会務
 - 2.1 2024年度支部幹事会商議員会並びに総会

日時：2024年3月（予定）

場所：ハイブリッド開催

議事：

- (1) 2023 年度事業報告
- (2) 2023 年度決算報告
- (3) 2024 年度事業計画
- (4) 2024 年度収支予算
- (5) 2023 年度表彰報告
- (6) 溶接接合工学学修会の件
- (7) 溶接技術講習会の件
- (8) 見学会の件
- (9) 溶接接合工学学修会の件
- (10) その他

2.2 支部幹事会（支部商議員会と同時開催）

第1回支部幹事会 2024年3月 ハイブリッド開催（総会と同時開催）

第2回支部幹事会 2024年7月 広島市内またはWEB開催

第3回支部幹事会 2024年12月 広島市内またはWEB開催

2.3 表彰

(1)2023 年度溶接技術普及賞

河吉 利幸 氏（豊国工業（株））

(2)2023 年度溶接学会奨学賞

齋藤 陸 氏（岡山大学大学院）

(3)2023 年度溶接学会中国支部 山本正登奨学賞（11名）

(4)2023 年度溶接学会中国支部 最優秀ポスター発表賞

三宅 陸斗 氏（広島大学大学院）

(5)2023 年度溶接学会中国支部 優秀ポスター発表賞（16名）

溶接技術普及賞は2024年3月開催の支部総会において表彰

上記(2)-(5)の学生表彰は2024年3月に賞状・記念品を推薦者に送付し、修了式時に表彰

8. 四国支部

1. 事業

1.1 第29回溶接学会四国支部講演大会

日時：2024年3月9日（金）13：30～17：00

場所：（一社）溶接協会 四国地区溶接技術検定委員会

1.2 第32回溶接技術実用講座

主催：溶接学会四国支部

日時：2024年11月22日（金）（予定）

場所：徳島県

講師・講演題目：（未定）

参加者数：40名（予定）

1.3 見学会

日時：2024年11月22日（金）（予定）

場所：徳島県

1.4 刊行

出版物：(1)第29回溶接学会四国支部講演大会概要集(PDF 配布予定)

(2)第32回溶接技術実用講座 講演資料

2 会務

2.1 2024-2025 年度第1回幹事会

日時：2024年3月9日（土）11：30～12：30

場所：（一社）溶接協会 四国地区溶接技術検定委員会

審議幹事：16名（予定）

議案：

- 1) 2022(R4)-2023(R5)年度事業および会務報告
- 2) 2022(R4)-2023(R5)年度収支決算報告
- 3) 監査結果報告

- 4) 2024(R6)-2025(R7)年度事業および会務計画
 - 5) 2024(R6)-2025(R7)年度四国支部役員
 - 6) その他
- 2.2 2024-2025 年度四国支部総会
日時：2024年3月9日(土) 12:30~13:30
場所：(一社)溶接協会 四国地区溶接技術検定委員会
議案：
同上
- 2.3 2024-2025 年度 第2回幹事会
日付：2024年11月22日(金) (予定)
審議幹事：16名(予定)
議題：(未定)
- 2.4 表彰式
2025年3月9日(土) 開催予定の第1回幹事会後に表彰
9. 九州支部
1. 事業
- 1.1 2024 年度溶接学会九州支部研究発表会
日時：2024年8月または9月(予定)
会場：未定(対面・Web 併用会議)
研究発表 15 件程度
参加者：30 名程度
- 1.2 溶接研究会
日時：2025年1月(予定)
会場：未定(Web 会議とする可能性有)
研究発表 5 件程度
参加者：20 名程度
- 1.3 刊行
出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第 21 号
2. 会務
- 2.1 2024 年度商議員会
[第1回] 2024年3月(Web 会議)
[第2回] 2024年6月(書面回議)
その他，必要に応じて臨時会議を開催する場合有.
- 2.2 総会
日時：2024年5月または6月(書面回議の予定)
- 2.3 表彰式
日時：2024年8月または9月(未定. 式は中止し、受賞者に表彰状等を直送の場合あり.)